

～戦う陸上自衛隊～ 刈羽村自衛隊協力会で本部長が講話



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は6月8日（火）刈羽村役場において刈羽村自衛隊協力会（会長 刈羽村長品田宏夫）会員約30名に対して防衛講話を実施しました。

「戦う陸上自衛隊～災害派遣とコロナウイルス感染症対策を焦点に～」をテーマに行われた講話は、自衛隊の現状を踏まえ特に令和元年度以降の災害派遣及びコロナウイルス感染症対策の活動について具体的な数値と支援内容、教訓等を挙げながら講話を行いました。

協力会会員も報道だけでは分からない自衛隊の活動に熱心に聴き入り、講演後は「自衛隊の活動がより理解できた」「我々も防衛・自衛隊の活動について理解を深める必要がある」等の意見があり、大倉本部長は「東日本大震災の時には自治体がダメージを受けていて調整等で苦勞をした。災害時等においては自治体が正常に機能することが重要」と述べ自衛隊と自治体の認識の共有が図られました。

また、柏崎地域事務所長 森崇1陸尉は、防衛講話の前に行われた総会で募集の現状について前年度刈羽村から1名の自衛隊員が誕生し活躍していることを紹介して、引き続き継続した支援を頂けるよう要請しました。

新潟地本は今後も協力団体と協力し、密接な連携を保ちつつ募集広報に邁進していきます。